

地域企業マネジメント特論演習（一）（4単位）

担当者氏名 長澤 真史、黒瀧 秀久

◆学習・教育目標（到達目標を記載）

豊かな資源が賦存する地域農林水産業の現状と課題をマネジメント（経営管理）視点から明らかにし、その持続的な発展方向と活性化方策を提示する能力を養うことを目標とする。そのためには地域農林水産業の現場から問題関心をくみとり、問題解決能力を身につけることに主眼をおく。

◆取り扱う領域（キーワードで記載） ご自身のキーワードを記入してください

地域産業	農林水産業	フードビジネス	マネジメント
地域活性化	リスクマネジメント	食の安心・安全	自治体・協同組合

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	地域生物産業の動向分析 (第1～8週) (担当 長澤真史)	地域生物産業の核となる地域農林水産業と地域企業の動向を把握するため、地域農林水産業と地域企業の歴史的展開過程と構造分析の分析手法を習得する。	◎本講義のねらいは、地域企業のマネジメント問題について、フォールドワークも交えて修得するが、事例の選定は事前に詰めておくこと。◎日々生起している様々な経済現象を新聞、文献等で理解しておくこと。講義の際の最初に報告してもらい、不明確な場合は復習を課する。
2	地域生物産業の先行研究 (第9～11週) (担当 長澤真史)	地域生物産業を巡る先行研究を整理・分析するなかで、地域生物産業の今日的課題と研究論点を習得する。	
3	地域企業とアグリフードシステム(第12～19週) (担当 黒瀧秀久)	地域企業においては、フードシステムの視点が重要になることから、わが国における地域フードシステムマネジメントの現状と課題を習得する。	
4	食の安心・安全とリスクマネジメント(第20～27週) (担当 黒瀧秀久)	昨今の地域農林水産業において食の安心・安全は企業マネジメントにおいて欠かすことができないため、現代のリスクマネジメントのあり方を習得する。	
5	地域農林水産業の現地ヒアリング調査(第28～30週) (担当 長澤真史)	地域農林水産業とその関連産業、協同組合・自治体を対象としたヒアリングなどのフィールドワークを実施し、リアルな現実認識を身につける。	

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名/著者/発行所(発行年)

演習の際に基本文献を紹介し、必要な文献・資料は配付する。

◆授業をより良く理解するのに便利な参考書・資料等

書名/著者/発行所(発行年)

演習の際に指示する。

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

レポート(80点)、小テスト(20点)

◆オフィスアワー

毎週水曜日5限目、研究室にて受け付けます。

◆その他受講上の注意事項